



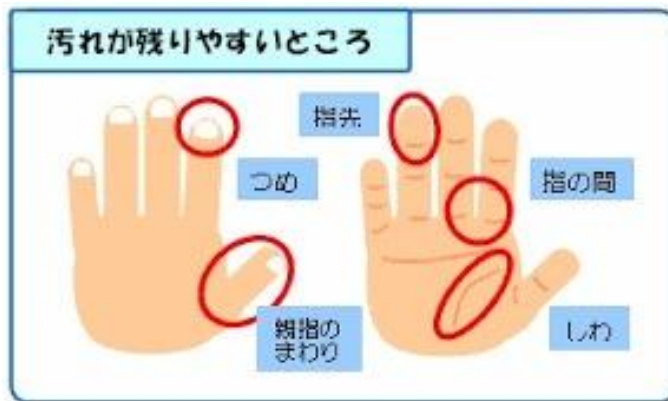
わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

冬の感染症：インフルエンザと併せて、感染性胃腸炎にも注意！

感染性胃腸炎は、細菌・ウイルスなどの感染性病原体による嘔吐・下痢を症状とした感染症をまとめています。毎年、秋から冬にかけて流行します。その多くは、ウイルス感染（ノロウイルス・ロタウイルスなど）によるものだそうです。

食中毒＝夏、と思いがちですが寒い季節にも流行するようです。「外出後や調理・食事の前、トイレの後は、液体石けんを使った手洗いを励行し、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は使い捨ての手袋とマスクを着用するなど、感染予防を心がけましょう。」とのこと。注意しましょう。



感染予防の基本は、石けん（液体石けんが望ましい）を使った、食事前・トイレの後・外出後の手洗いです！

◁ 目には、見えないけれど、汚れているのはこんなところ！

つめの長さもチェックしよう！

病気の予防の基本は、手洗い！自分の手洗いを見直しましょう！

児童生徒の作品

柴犬は「しばけん？」「しばいぬ？」 中学部1年1組 市川 樹里

1. 課題

テレビを見ていて、動物番組で柴犬のことを「しばけん」と「しばいぬ」という人がいることに気付いた。本当はどちらが正しくて、使い方としては、どちらが多いのか気になった。

2. 調査の方法

- A アンケートで、使い方と言いやすさを調べた。
- B インターネットで、実際の言い方を調べた。
- C 国語辞典で、読み方がどちらなのかを調べた。

3. 調査の結果

A アンケートの結果

「しばいぬ」より、「しばけん」と言う人が多い。普段では「しばいぬ」を使っているも、「しばけん」の方が言いやすいという人もいた。

43人中	25人	しばけん	18人	しばいぬ		
		言いやすさ	29人	しばけん	14人	しばいぬ

B. インターネット

英語では Shiba-inu と書き、天然記念物指定の時は「しばいぬ」で登録された。熟語の決まりもあり、最初の文字が音読みの時は次の漢字も音読み、訓読みの時は、次の漢字も訓読みで読む。実際は「しばいぬ」でも、「しばけん」という人が多い。さらに、NHK の調査では、日本人の 50%以上が「しばけん」という言い方を認めている。

C. 国語辞典

国語辞典で「しばいぬ」と調べると、柴犬（しばいぬ）が出たが、国語辞典に「しばけん」は出ていなかった。

4. 考 察

本当は「しばいぬ」でも、多くの人が「しばけん」という言い方を認めている。「しばけん」は「しばいぬ」よりも言いやすいから、多くの人に認められているのではないだろうか。さらに、日本犬は「北海道犬」（ほっかいどうけん）や「甲斐犬」（かいけん）など、「〇〇犬」（〇〇けん）と呼ばれる場合が多いため、柴犬も、「しばいぬ」から「しばけん」に徐々に変化していったのではないか。

5. 参考資料

<http://www.saintnature.com/shiba-yomikata/>

セントネイチャー 『しばいぬ？しばけん？本当はどっち？「柴犬」の読み方！』
現代新国語辞典（株式会社 三省堂 2004年）

「モアイは語る—地球の未来」を読んで 中学部2年1組 ガドロー 愛子

安田喜憲が書いた「モアイは語る」という文は、モアイを作ったポリネシア人と、その人達の運命のことが語られている。

ポリネシア人がイースター島から消えた理由は、食糧危機と、資源の不足からだと言われている。これはポリネシア人がモアイ像をラノ・ララクという石切り場から海岸まで運ぶために「ころ」を必要とした。かつてイースター島には、ヤシの森があったということが分かった。そして、その人達はそのヤシの木を切り倒し、「ころ」として使ったり、魚を釣るための船を作ったり、食料に火を通す薪に使ったりしていた。だが、人口が年々増加していくうちに、人を支えていく為にどんどん木を切り、森を破壊しなくてはならなかった。島に残った木が少なくなっていき、船を作ることが出来なくなり、ヤシの木の根が固めていた地面の土が雨で海へ流されていって、作物が育たなくなっていったのだ。最後には、ポリネシア人はモアイ像だけを残し、飢え、全滅してしまった。

今の時代は、資源はいくらでもあると考える人もいるが、全滅したポリネシア人のそう思っていたに違いない。今生きている私たちは同じ過ちを犯してはいけない。今世界が抱えている問題の存在を認めて、その問題を解決するために行動をとることが大切だと思う。

例えば、今大きな話題となっている地球温暖化。アメリカのトランプ大統領は、温暖化はデマだと、スマホアプリのツイッターで告げ、今年の一月に「気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定」、パリ協定を離脱した。これはおかしいと思う。アメリカは二酸化炭素の排出量が中国に続いて世界で二位だ。そして、この協定を離脱して逆に温暖化を進めると、自然災害が起きやすくなり、水面が上がり、空気が汚くなり、オゾン層がなくなり、資源を使いすぎたポリネシア人の様に、全滅してしまうかもしれない。安田喜憲が言うように、限られた資源を長期にわたって、未来の事もきちんと考えて効率よく使っていくことは大切であり大変なことだと思った。